

建築的なアプローチを通じて、「従業員が働きやすく、経営的にもサステナブルな建築（空間）」を法人に提供します。

「経営基盤（資源）＝ヒト・モノ・カネ・情報」と一般的にはされていますが、それを施策に落とし込んでみると…



実は建築的なアプローチが非常に多いんです！

	関連するゴール	具体策の例
ヒト 人材育成	4, 5, 8	<ul style="list-style-type: none"> 処遇改善 知的生産性・健康性の高い建物 女性が活躍しやすい環境の整備
モノ 施設整備	3, 4, 5, 7, 8, 9, 11, 12, 13, 15	<ul style="list-style-type: none"> スマートインフラ管理の推進、蓄電池 高耐震・耐震改修・長寿命建築の実現 木造・木質建築・地域材の使用 運用エネルギー消費量の削減 再生エネルギー活用 緑化（生物多様性） 気候変動に応じたレジリエンスの高い建物 CO2削減、スマート防災エコタウン等 音環境や光・視環境、換気性能などの改善
カネ 財務の健全化	8, 9, 11	<ul style="list-style-type: none"> 優良ストック化、資産評価額の増加 運用コストや維持管理費の削減
情報 IT活用	4, 8, 9	<ul style="list-style-type: none"> IoT、ロボット活用等 ランニングコストの可視化と改善 ボトルネックの発見 リモートワークの実現

法人の働き方・働く環境改善を支援

【ワークプレイス・ワークスタイルサーベイ】を通じて、「働き方」「働く場所」について社員が何を重視し、それがどのくらい満たされているかを調査し、より良い職場環境の実現につなげます。（法人の4.5.8のゴール推進を支援）※プレスマネジメント研究所の協力による

既存建物の長寿命化、省エネ実現、高レジリエンスの建物を実現するための支援

より長寿命でストレスのない建物利用を実現するために、建物点検を実施し、その情報をレポートとして提供。中長期修繕計画や改善計画の策定等を支援する。（法人業の3.4.5.7.8.9.11.12.13.15のゴール推進を支援）